

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 26 年 5 月 29 日 (2014.5.29)

【公開番号】特開 2013-258601 (P2013-258601A)

【公開日】平成 25 年 12 月 26 日 (2013.12.26)

【年通号数】公開・登録公報 2013-069

【出願番号】特願 2012-133945 (P2012-133945)

【国際特許分類】

H 0 4 M 11/00 (2006.01)

G 0 6 Q 50/10 (2012.01)

【F I】

H 0 4 M 11/00 3 0 2

G 0 6 F 17/60 1 2 4

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 4 月 11 日 (2014.4.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 6】

請求項 1 から請求項 5 のいずれか一つに記載のサービス提供システムであって、

前記ユーザ登録部は、前記匿名個人データ集約部が前記第 3 識別情報に集約する匿名個人データを生成した前記アプリケーションを限定するために、当該アプリケーションを特定可能なアプリケーション特定可能情報をさらに含む前記ユーザ登録データを前記サービス計算機に送信し、

前記匿名個人データ集約部は、

前記記憶領域に記憶された前記匿名個人データから、前記ユーザ登録データに含まれる前記アプリケーション特定可能情報によって特定されるアプリケーションによって生成された匿名個人データを検索し、

前記検索された匿名個人データを前記第 3 識別情報に集約することを特徴とするサービス提供システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 8 6】

一方、サービスサーバ 11 は、ユーザ ID に関連付けられた仮想デバイス ID の数が所定以下であると判定した場合、ユーザ ID と仮想デバイス ID とを関連付けることができる状態 (状態 2) であることを示すメッセージを端末 C 6 に送信する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 1 5】

本実施例では、端末 A 1 が複数のアプリケーション 4 を実行し、ユーザが端末 A 1 から

ユーザ登録を実施した場合に、複数のアプリケーション 4 によって生成され、サービスサーバ 11 に記憶された匿名個人データを集約する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0126

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0126】

以上によって、端末 A 1 が複数のアプリケーション 4 を実行し、ユーザが端末 A 1 からユーザ登録を実施した場合に、複数のアプリケーション 4 によって生成され、サービスサーバ 11 に記憶された匿名個人データユーザ ID に集約される。